

情報コーナー

「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」会員募集

アジアを中心とした国の人々との文化交流を図ることを目的に活動しています。定例会のほか、アジア文化講演会、アジアの料理サロンや文化サロン、研修会など各種イベントも楽しめます。外国の文化が好きな方、国際交流に興味がある方、ぜひ一緒に活動してみませんか。

- 活動日 毎月第3金曜日 午後1時30分から午後3時まで(定例会(会議)、予定)
※その他、年に数回イベントを開催します。
- 会場 日立シビックセンター
- 会費 無料(催しにより参加料がかかる場合があります)
- お申込み 随時受付(TEL:0294-24-7711)



アジア文化講演会の様子

関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー(2022年3月～2022年7月) 一般参加可能は★印

主催	タイトル	日時	場所	問い合わせ先
ひたち生き生き百年塾	「世界おもしろ発見クラブ」 小学生の英語発表会	3月20日(日) 10:00～11:30	教育プラザA会議室	0294-23-9165 (百年塾サロン)
フレンドリーあんず	日本語教室	毎週火曜日 19:00～20:30	女性センター	0294-42-4448(庄司)
		毎週金曜日 14:00～15:30	教育プラザ	0294-42-9572(宇都木)
		毎週土曜日 18:30～20:00	水木交流センター	0294-42-4448(庄司)
	外国人のための生け花クラブ	月1回 10:00～11:30	教育プラザ	0294-21-4150(福地)
	桜祭りを楽しむ会★	4月上旬	教育プラザ	0294-36-5440(長山)
	夏祭り★	7月中旬	水木交流センター	0294-36-5440(長山)
	食と会話を楽しむ会★	年2回	女性センター	0294-36-5440(長山)
世界の料理クラブ(出前講座)★	依頼時	-	0294-21-4150(福地)	
国際交流ボランティアネットワークさくら	日本語教室	毎週木曜日 10:00～11:30	教育プラザ	0294-34-6257(臼井)
		毎週土曜日 10:00～11:30	女性センター	0294-34-6257(臼井)
日立国際交流協議会	フレンドシップ・キルト展★	3月2日(水)～3月6日(日) 10:00～17:00(最終日16:00)	日立シビックセンター ギャラリー	0294-22-3111 (日立市文化・国際課)

*新型コロナウイルス感染防止の観点から中止又は内容を変更する場合があります。

活動記録

(2021.10.1～2022.2.10)

- ◆活動推進部会(定例会)
各月第3金曜日 10/15, 11/19, 1/21
・広報チーム 11/19, 12/19, 1/21
・料理チーム 11/19, 12/19
・研修見学チーム 11/7, 12/19
- ◆令和3年度会員数 119人(2/10現在)
- ◆活動推進部会 34人(2/10現在)

編集後記

ひたち国際文化まつりは、コロナ禍の中での開催が心配されていましたが、今年度、無事に19回目を開催することができました。来場者は例年と比べて少なく、内容も不十分なところもあったとはいえ、多くの方々の思い入れとともに、開催できたことに心から感謝いたします。次回の2022年秋には、このまつりも20回目を迎えます。どのような内容となるか、若い世代の方々と共に、国際交流の出会いの楽しさ、素晴らしいさやその意気を感じられる素晴らしいイベントになるようお願いしつつ……それまでにコロナがきっと落ち着きますように。(SAKAI 記)

広報紙「ひたちとアジア」は日立シビックセンターホームページでもご覧になれます。 <http://www.civic.jp>

連絡・問い合わせ・感想・入会希望等は、日立シビックセンター内「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」事務局まで
TEL 0294(24)7711 FAX 0294(24)7970 E-Mail salon@civic.jp

ひたちとアジア

第67号

2022年(令和4年)2月

発行:ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報部会

第19回 ひたち国際文化まつり 開催
コロナ禍の中、様々な交流がありました
11月7日(日)をメインに、ギャラリー展示は5日間



参加ボランティア団体と学生によるディスカッションの様子

2003年から始まった「ひたち国際文化まつり」は、今年度で19回目を迎えました。毎年秋に日立シビックセンターを会場に、市内の国際交流団体協力のもと当会が中心となり、ひたち国際文化まつり実行委員会を組織し開催してきました。

今年も世界中がコロナ禍の中で開催できるのか危ぶまれましたが、多くの会員の熱い思いにより「感染防止対策を万全にし、出来る範囲内のことをしよう。」と、市内の国際交流団体8団体と県内の6団体の協力を得て、無事11月7日(日)に開催しました。(展示コーナーは、11/3～7開催)

当日は、1階と2階を中心に、外国人の皆さんと「やさしい日本語」で話すコーナーや、折り紙、脳トレパズルなどの体験コーナー、市内に住んでいる外国人の皆さんが、日立市での生活や印象について話す国際交流トークなどを行いました。展示コーナーでは、日立の子どもたちの国際交

流活動、日立市の姉妹都市交流パネル展、パンダアートコンテストの絵画展示、協力団体による「2023年度茨城・高校生大使留学生」募集案内、日立第一高等学校のSDGsに関するポスター展示、そのほか、アジアの手工芸品の展示即売等も行い、幅広い方に参加していただきました。

今回は、初の試みとして県内高校5校と大学1校の希望者33人を招き、参加ボランティア団体の活動内容や展示内容の説明を行い、これを踏まえて学生とボランティア団体の代表によるディスカッションを行いました。

また、新都市広場には、ガパオライスや小籠包などのキッチンカー、外国人による雑貨や洋書などの販売ブースを設けました。

来場者数は、例年より少な目ではありましたが、様々な展示の数々は、来場の皆様にも好評で閉幕することが出来ました。[詳細は2ページで紹介します。]

1階 ギャラリー 展示コーナー 11/3~7

★外国人によるわたしのふるさと写真展

当会では、日立市在住の外国人の皆さんから募ったふるさと写真の展示をしました。インド・ロシア・フィリピン・中国の写真を展示しました。



★フレンドリーあんず活動の記録

フレンドリーあんずは、誰もが教育を受けられる世界を目指して、自分たちが出来る活動報告の写真展や、遊びの広場、外国人による生け花の展示をしました。



★日立の子どもたちの国際交流活動

ひたち生き生き百年塾推進部会は、海外に友達を作り、外国のおもしろ情報を探す「世界おもしろ発見クラブ」「10Photo Exchange」の活動を紹介しました。



★パンダアート県大会入賞作品展

日立市日中友好協会は、昨年に引き続き、茨城県日中友好協会選考によるパンダアートコンテスト入賞者作品を展示しました。



★日立さくら日本語学校の展示

日立さくら日本語学校は、留学生が日本に来るまでの経緯、来日してからの留学生の一日について紹介しました。



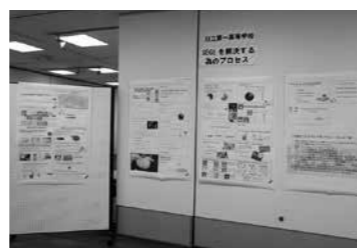
★姉妹都市交流パネル展

日立国際交流協議会は、国際親善都市バーミングハム市とタウランガ市との交流のあゆみを、写真パネル等で紹介しました。



★日立第一高等学校ポスター展示

日立第一高等学校は、カナダの大学生とのオンライン海外研修で作成したSDGsに関するポスターを展示しました。



★2023年度「茨城・高校生大使留学奨学生」募集案内

国際教育交流ネットワーク機構は、茨城県の魅力をアメリカの高校へ留学しながらPRする「茨城・高校生大使」の奨学生留学案内をしました。

★茨城から世界へ! JICA海外協力隊×SDGsパネル展

昨年に引き続きJICA筑波の茨城デスクは、JICA海外協力隊やSDGsに関するパネルを展示しました。

1Fアトリウム/2F/新都市広場 11/7のみ

★1F「やさしい日本語」で話しましょう

日立さくら日本語学校の留学生と、外国人に伝わりやすい、やさしい日本語のコツを学びました。



★2F インターナショナルトーク〜わたしが今日本/日立にいる理由〜

国際交流ボランティアネットワークさくらは、市内在住の外国人の皆さんが、自分の生活や日立市の印象を日本語で話すイベントを開催しました。



★2F 学生に向けた国際交流団体の活動紹介及びディスカッション

各参加団体がそれぞれの活動紹介を行ったあと、県内の学生たちと国際交流について、自由にディスカッションしました。



★新都市広場 外国人による販売ブース/和を感じるブース、キッチンカー

外国人(那珂市在住のALT講師)による雑貨や洋書販売、折り紙が体験できるブースやキッチンカーも参加し、たくさんの方が楽しんでいました。



アジア文化サロン「シリアのお茶と文化」 2021/12/19 開催

12月19日(日)日立シビックセンター会議室502号にて、27名の参加者を得て開催しました。講師は、シリアのアレッポ出身で、ヨルダンの大学を卒業し、2017年8月に来日したムハンマド・ナジーブ アルヘブラウィさんです。現在は、茨城大学理工学研究科博士後期課程に在籍されており、奥様と二人の息子さんと共に日立市に住んでいます。

ナジーブさんと日立シビックセンターとの出会いは、2020年11月に行われた「第18回ひたち国際文化まつり」のプログラムで茨城大学の横溝環准教授によるアジア文化講演会「実践! 多文化共生—私たちに出来ることを考える—」でした。ナジーブさんが最後に登場して、講師との対話が行われ、盛り上がったことがきっかけとなり、今回の多文化共生につながりました。



シリアの一般的なテーブルセッティングとナジーブさん

ナジーブさんは、「シリアのお茶はたっぷりの砂糖を入れて、焼き菓子などと一緒に飲むのが一般的です。」「朝、紅茶を飲むことから一日が始まり、家族や友人、近所の方を自宅に招き、ティータイムを通して親睦を深めることを大事にしています。」など話していただきました。

アラビアの紅茶の種類には、クミンやハイビスカス、カモミールやセージ等があることや、お茶請けのお菓子の話、簡単な紅茶の入れ方などを紹介していただきました。

会場のテーブルコーディネートは、わざわざご自宅で使われているものを持参されたもので、奥様自らセッティングしてくださいました。

最後に、熱いお湯をたっぷりそいだ美味しい紅茶と、レバノンから輸入された甘い焼き菓子「バクラヴァミックス」を食しながら、美味しいお茶の時間を楽しみました。



日立市内の国際交流関連団体との交流記録

2021年11月~

◆第165回日立国際交流協議会企画部会に参加【12/9 日立市役所】

日立国際交流協議会は、日立市が事務局を務めている団体で、国際姉妹都市交流や在住外国人支援などの活動を行っています。今回は、令和3年度事業として「日本語ボランティア・ステップアップ講座」、「災害時のやさしい日本語講座」、「第17回フレンドシップ・キルト展」等の計画が報告されました。また外国人が住みやすいまちづくりを進めるための取り組みとして、LINEを活用した外国人への情報発信や2022年バーミングハム市との姉妹都市提携40周年記念事業等について話し合いました。

海外支援の報告

■アフガン難民・パキスタン困窮者支援

上記のアジア文化サロン「シリアのお茶と文化」でお話いただいたナジーブさんが、「国際交流ボランティアネットワークさくら」に支援を要請し、「フレンドリーあんず」と当会の有志が協力しました。

この支援活動は、ジャパン・イスラミック・トラスト宗教法人日本イスラーム文化センターマスコド(モスク)大塚が行っているものです。冬用衣類、タオルなど全体で段ボール25箱と義援金を提供しました。ご協力いただきました方々にお礼申し上げます。

■フィリピン台風被害支援

昨年12月超大型台風22号がフィリピンに上陸し甚大な被害が発生しました。2020年2月、当会会員でフィリピン出身の辻ローナさんの故郷を訪問した有志6人が中心となり、支援を行いました。支援物資の発送までに時間が短かったにも関わらず、夏物衣料品を中心にダンボール15箱が集まり、義援金と合わせて提供しました。ご協力いただきました方々にお礼申し上げます。